

かながわ授業のタネ

中学校

保健体育

全学年

主体的な学びにつながる「GROWモデル」を用いた学習活動

【GROWモデルとは…?】

対話を通して相手を目標達成へと導く**コーチングの手法**です。

「Goal:目標設定」「Reality:現状把握」「Options:選択肢の創出」「Will:意思決定」の対話の過程の頭文字をとってGROWと呼ばれています。

Point!



コーチングは、相手の思っていることや考えていることを引き出し、力を存分に發揮できるようにすることがポイントです。

相手の意見を尊重する対話が大切！

【GROWモデルを用いた学習活動】

Goal

その日の授業で達成したい目標を設定する

今日、頑張りたいことは何？

上手くできたことは何？
困っていることはどんなこと？

この練習にする！
この作戦が良い！

GoalとRealityの
差を分析する

Will

自ら決定して取り組む

Options

練習方法や、作戦等を考える

Reality

練習やゲームから目標に対しての現状把握を行う

どんな練習方法がいいと思う?
どこのポジションがいい?
どんな作戦がいいと思う?



生徒がGROWモデルのプロセスに沿った対話をすることで、互いにコーチングが行えるようにします。

【GROWモデルのプロセスを用いた学習活動の工夫】

◆学習カード

(球技:ゴール型 バスケットボールにおける実践例)

◇自分が分担する連携プレイについて、頑張りたいことを書きましょう。

自分が分担する連携プレイ G	
-------------------	--

授業の冒頭に目標を記入

W: 意思決定

◇発揮したいプレイに応じた練習を選びましょう。

解決のための選択肢 O	シート練習	はじめの位置	シュートの位置	種類	守備者
		インサイド	インサイド	セットシュート	なし
	ミドルレンジ	ミドルレンジ	ジャンプシュート		
	アウトサイド	アウトサイド	ワンドリシュート		
			ランニングシュート		
シート以外	バス	リバウンド	ボールキープ (ピボット・ドリブル)	その他	

目標に対して行いたい練習を選択

W: 意思決定

◎ゲームの振り返り

①自分が分担した連携プレイについて、成果や課題を書きましょう。

自分が分担する連携プレイの現状 R	
----------------------	--

授業の振り返りで現状を記入

W: 意思決定

Point! 各プロセスについて、書くことで個人の意思を持てるようになります。

学習カードに書いたことをもとにチームでの対話を行います。

◆生徒同士の運動観察

ゲームの記録

ゲーム記録用紙		チームカラー【 <input type="text"/> 】			
		1試合目	2試合目	3試合目	4試合目
得点	△○	△○	△○	△○	△○
今まで	△○	○	△△	△○	

動画の撮影・視聴



記録を積み重ねることで、以前の自分と比較しながら、他者との対話を通して現状把握を行います。

G・R・Oの各プロセスについて意思決定(W)することで、主体的な学びにつながります。

※詳細は、総合教育センターwebサイト、長期研究員 研究報告(R6)をご覧ください。